



Try & Discover

ブランドメッセージ

さあ、保

私たちがつくりたいのは、保険だけではない。
保険を超えて、誰もがリスクを恐れることなく
可能性を豊かに広げていく未来だ。
どんな変化の時代にあっても、
誰もが希望を抱ける社会だ。
一人ひとりがTry&Discoverの精神をもち、
あたらしいことをつぎつぎと。
私たちT&D保険グループなら、きっとできる。

グループ経営理念

Try&Discover(挑戦と発見)による
価値の創造を通じて、
人と社会に貢献するグループを目指します。

険の新次元へ。

グループ経営ビジョン

お客さまからの視点

私たちは、最優の商品・サービスの提供により、
お客さま満足度のトップを目指します。

株主・投資家・市場からの視点

私たちは、成長に向けた新たな挑戦により、
安定的・持続的に企業価値を向上させ、
確固たる存在感のある保険グループを目指します。

目次

T&D 保険グループ の概要

巻頭	ブランドメッセージ・グループ経営理念・経営ビジョン
2	目次・編集方針
4	T&D 保険グループのあゆみ
6	T&D 保険グループの特徴
8	財務ハイライト
10	非財務ハイライト

共有価値創造 のための Try & Discover

12	トップメッセージ
20	新型コロナウイルス感染症への対応
22	中期経営計画「Try & Discover 2021～共有価値の創造～」の進捗
24	【特集】事業ポートフォリオの多様化
28	T&D 保険グループの価値創造プロセス(概念図)
30	共有価値の創造に向けた「6つのテーマ」
40	国内生命保険事業
44	傘下グループ会社

共有価値創造 の基盤

46	監査等委員会委員長 檜垣社外取締役メッセージ
48	社外取締役鼎談
52	コーポレート・ガバナンス
60	ERM(Enterprise Risk Management)
62	財務戦略
64	気候変動の緩和と適応への貢献—TCFD への取り組み—
66	すべての人が活躍できる働く場づくり
70	マネジメント体制
73	IR 活動の紹介

補足資料

74	生命保険市場の概要
77	用語集

コーポレート データ

80	要約財務データ
84	連結財務諸表
91	株式情報
92	グループ会社
93	会社概要

編集方針

本報告書は、T&D保険グループの事業や取組みが、グループの中長期的な成長やステークホルダーの皆さまへの価値創出にどのように結びついているか、ESG（環境・社会・企業統治）の観点を踏まえ、分かりやすく説明することを目的に作成しています。

具体的には、2019年4月を始期とするグループ中期経営計画「Try&Discover 2021～共有価値の創造～」の進捗や、これに基づくグループ会社の具体的な事業戦略、及び「コーポレート・ガバナンス」、「社会・環境への取組み」等について報告しています。

報告対象期間：

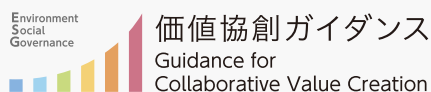
2019年4月1日～2020年3月31日（一部期間外の情報を含みます）

報告対象範囲：

株式会社T&Dホールディングス及びその子会社・関連会社

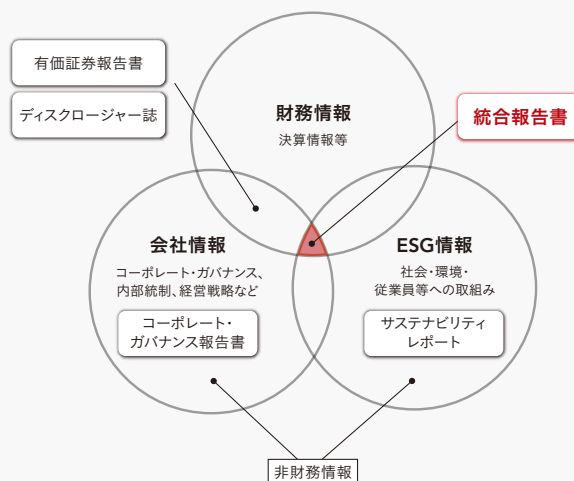
参考ガイドライン等：

国際統合報告評議会（IIRC）「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」、「GRIスタンダード」



統合報告書2020の位置づけ

統合報告書は、T&D保険グループを株主や投資家の皆さまにご理解いただくために、「財務情報」「会社情報」「ESG情報」等の重要な情報の要素を集約しています。



ESGインデックスへの採用状況 (2020年7月1日現在)

- ・ FTSE4Good Index Series
- ・ MSCI ESG Leaders Indexes
- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・ MSCI日本株女性活躍指数(WIN)



2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

将来の見通しに関する注意事項

本報告書には、T&Dホールディングスの将来の収益計画、戦略、理念及び業績見通しが記載されています。それら収益計画、戦略、理念及び業績見通しはリスクや不確実性のある要素を含んでおり、また、当社の現時点での見通しに基づくものであるため、実際の業績は本誌に書かれた見通しと大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素には以下のようなものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
(1) 一般的な経済情勢の状況、特にT&D保険グループが中核としている生命保険市場の状況、(2) 金融市場の動向、(3) 死亡率及び疾病率の水準と動向、(4) 契約継続率、

(5) 金利水準、(6) 為替レートの変動、(7) その他の一般的な競争要因、(8) 生命保険料にかかる税務上の取扱いを含む法律及び規制の変更、(9) 政府及び行政当局による方針の変更。したがって、読者の皆さまには、これらの将来の見通しに関する記述について全面的に依拠することをお控えくださるようお願いします。さらに、当社は、新しい情報、将来の出来事あるいはその他進捗事項に関わるすべての見通しに関する記載について更新する責任を負うものではありません。

連絡先：株式会社T&Dホールディングス 経営企画部 IR課 電話 03(3272)6103

T&D 保険グループのあゆみ



太陽生命旧本社(東京都)
1930年竣工



1893年 創業

太陽生命の前身である「名古屋生命」は、わが国に現存する生命保険会社の中で4番目に創業しました。



1902年 創業

大同生命は、当時「朝日生命」(現在の朝日生命とは別会社)を営んでいた加島屋が主体となって、東京の「護国生命」、北海道の「北海生命」との合併により創業しました。



大同生命旧肥後橋本社(大阪府)
1925年竣工

T&Dアセットマネジメント

2002年 グループの資産運用会社を集約



T&Dフィナンシャル生命

2001年 T&D 保険グループ入り

太陽生命・大同生命が共同でT&Dフィナンシャル生命(旧東京生命)の株式を取得、同社はT&D保険グループの一員として業務を開始しました。

太陽生命・大同生命 全面的業務提携

1999年1月に太陽生命と大同生命が全面的な業務提携を発表し、同年6月にグループ名称を「T&D保険グループ」に決定しました。

社会的課題・ニーズ、
事業環境の変化

多様化する
個人・中小企業ニーズ
への対応

国内生命保険市場での取り組み

2008

太陽生命 10月
必要な保障を自在に組み合わせ
できる、業界の常識を変える
先駆的な保険「保険組曲Best」発売

2010

T&Dフィナンシャル生命 4月
業界初キャッシュ・フロー型一時払
終身保険「生涯プレミアム」発売
大同生命 10月
重大疾病のリスクをカバーする、
事業継続のための新しい経営者向け
保険「Jタイプ」発売

2012

T&Dフィナンシャル生命 8月
平準払保障性商品の販売開始
T&Dフィナンシャル生命 9月
来店型ショップチャネルへ進出

2014

太陽生命 4月
シニアのお客さまの利便性向上に向けた
取り組み「ベストシニアサービス」スタート

海外生命保険会社等との取り組み

2013

大同生命 12月
ドイツ生保「ニュルンベルガー社」
へ出資・業務提携。ファンドへの
共同投資や取引先紹介などで協働

さらなる成長に向けた
グローバルなネットワーク、
収益基盤の構築

グループ創成期

金融危機からの回復期間
健全性の確保・収支の回復・
ERM態勢整備

ERM
本格
導入

基盤強化期間
中期経営計画
2014～2015年度

成長領域拡大の3年
中期経営計画
2016～2018年度

共有価値の創造
中期経営計画
2019～2021年度



ペット＆ファミリー
損害保険株式会社

2008年9月 リーマンショック

2011年3月 東日本大震災

2012年12月 アベノミクススタート

2016年2月 マイナス金利政策導入

2007年子会社化(2019年4月に少額短期保険業者から損害保険会社へ移行)



T&D ユナイテッドキャピタル

2019年設立

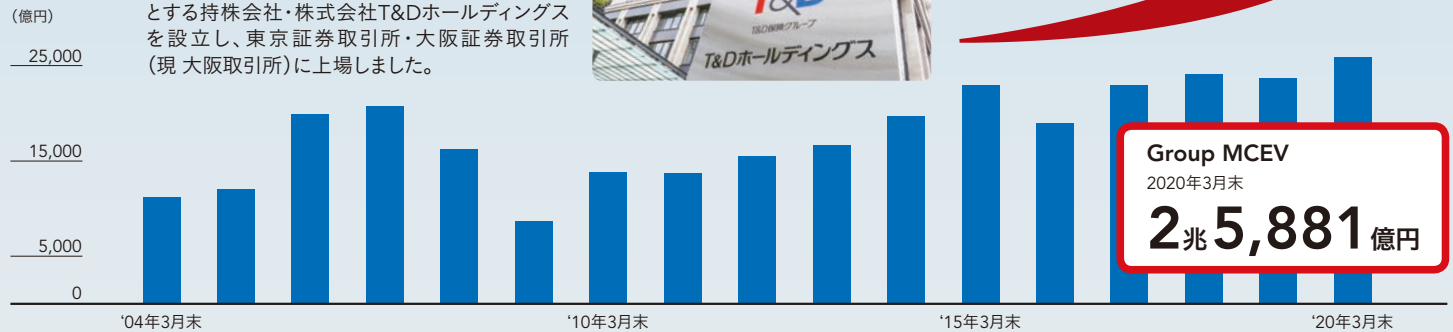


T&Dホールディングス設立

2004年4月に日本で初めて生命保険事業を中核とする持株会社・株式会社T&Dホールディングスを設立し、東京証券取引所・大阪証券取引所(現 大阪取引所)に上場しました。



2016年グループ3社
(T&Dホールディングス、
太陽生命、大同生命)の
本社機能を東京都中央区
日本橋に移転



(注)2006年3月末以前はTEV(トラディショナル・エンベディッド・バリュ)、2007年3月末以降はEEV(ヨーロッパ・エンベディッド・バリュ)、2012年3月末以降はGroup MCEVを記載しています。2020年3月末より終局金利を適用して算出しています。

T&D 保険グループの共有価値創造

2016

太陽生命 3月

業界初「ひまわり認知症治療保険」発売

太陽生命 4月

シニアのお客さまに最も優しく、お役に立てる生命保険会社へ「かけつけ隊サービス」スタート

太陽生命 6月

従業員・お客さま・社会のすべてを元気にする取り組み「太陽の元気プロジェクト」スタート

2017

大同生命 1月

「健康経営®」の普及に向けた取り組み「DAIDO KENCO アクション」スタート

大同生命 7月

ロボットスーツ「HAL® 医療用下肢タイプ」による所定の難病治療を保障「HALプラス特約」発売

※「健康経営®」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営®」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

2018

太陽生命 10月

「ひまわり認知症予防保険」発売

2019

太陽生命 10月

インターネット完結型保険「スマ保険」開始

2020

太陽生命 大同生命

T&D フィナンシャル生命 3月

新型コロナウイルス感染症対策として特別取扱い(保険料払込猶予、契約者貸付利息免除等)開始

2018

大同生命 6月

オーストラリア生保「インテグリティ社」へ出資・提携。生保事業立ち上げに関する経験やノウハウの将来的な活用を想定

T&Dホールディングス 6月

スイスデジタルヘルス企業「ダカドゥ社」と基本合意締結。デジタル技術・インフラ活用等による国内生保事業の高度化に向け協働

T&Dホールディングス 11月

米資産運用会社「ベイデン&リゲル社」と覚書締結。生保資産運用の高度化やアセットマネジメント事業及び人材育成に関し協働

2019

T&Dホールディングス 6月

効果的・効率的な投資体制構築等を目的に「T&D ユナイテッドキャピタル」を設立

太陽生命 8月

ミャンマーの生命保険会社「キャピタル・タイヨウ・ライフ社」を関連会社化

T&Dホールディングス

T&D ユナイテッドキャピタル 9月

フランス資産運用会社「ディケオー・キャピタル社」と資本業務提携契約を締結

2019

T&Dホールディングス

T&D ユナイテッドキャピタル 11月

米国再保険会社フォーティテュード社の持分取得に合意

※2020年6月に持分取得を完了

2020

T&D ユナイテッドキャピタル 2月

米国(ニューヨーク)に現地法人を設立

※ ニューヨーク州ニューヨーク市に設立済み。当初、2020年4月の開業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、東京で業務開始

T&D 保険グループの特徴

T&D保険グループは、市場特化戦略を追求する国内生命保険事業をコアに、生保事業と親和性のあるクロズドブック事業、アセットマネジメント事業、ペット保険事業等から構成される特徴あるグループです。生保事業は、公共性の高い事業であり、常に社会と価値を共有し、社会とともに持続的に成長する保険グループを目指しています。

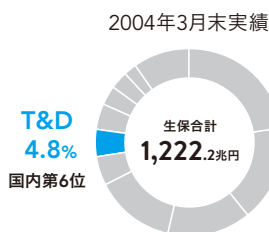


T&D保険グループのポジション

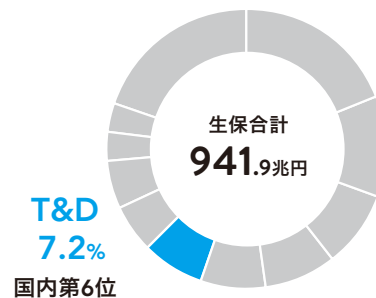
**T&D保険グループのシェアは
着実に向上**

2020年3月末におけるT&D保険グループの市場シェア(太陽生命・大同生命・T&Dフィナンシャル生命の合算値、保有契約高ベース)は7.2%となり、T&Dホールディングス設立(2004年4月)前の2004年3月末のシェアから着実に拡大しています。

保有契約高※



2020年3月末実績



出典：生命保険協会「生命保険事業概況」及び各社決算資料より当社作成。

※ 保有契約高は個人保険・個人年金保険及び大同生命のJタイプの重大疾病保険金額、Tタイプの就業障がい保険金額、介護リリーフα等の介護保険金額の合計。



取り組む4つの サステナビリティ重点テーマ

サステナビリティ重点テーマ 1

すべての人の健康で豊かな
暮らしの実現



サステナビリティ重点テーマ 2

すべての人が活躍できる
働く場づくり



サステナビリティ重点テーマ 3

気候変動の緩和と
適応への貢献



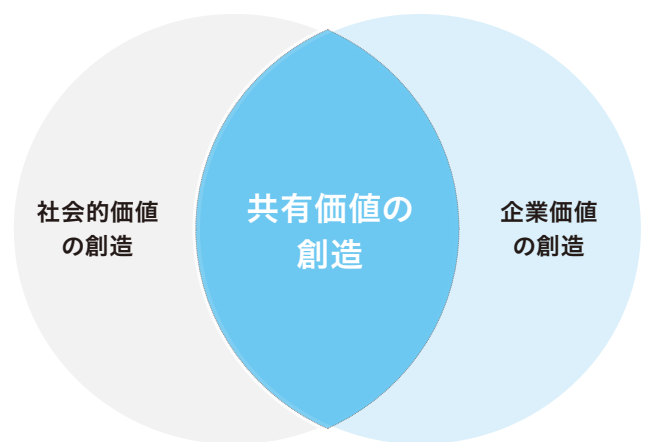
サステナビリティ重点テーマ 4

投資を通じた持続可能な
社会への貢献



価値創造の実現／ゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

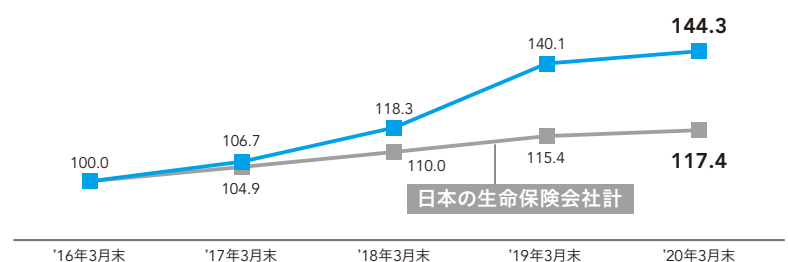


Try & Discover

T&D保険グループの契約業績推移(参考)

右のグラフはT&D保険グループ(太陽生命・大同生命・T&Dフィナンシャル生命の合算値)と生命保険業界全体の契約業績(第三分野保有契約年換算保険料)の推移を比較したものです。特化したマーケットにおいて、優位性を保っています。

第三分野 保有契約年換算保険料※



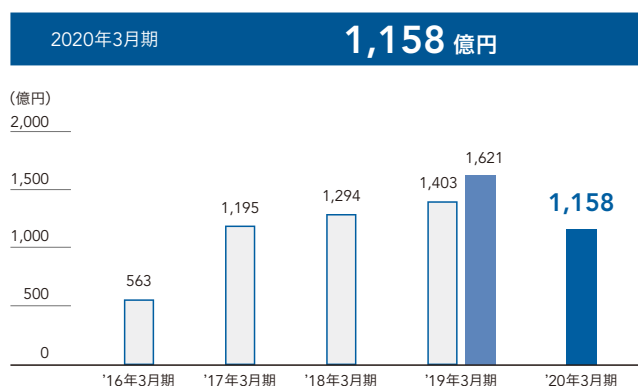
出典：生命保険協会「生命保険事業概況」及び各社決算資料より当社作成。
※ 2016年3月期の第三分野における保有契約年換算保険料を100として指数化。

財務ハイライト

中期経営計画1年目にあたる2020年3月期決算では、新契約価値は販売量の減少により前期から減少しましたが、実質利益は当初見通しを上回りました。

主要経営指標

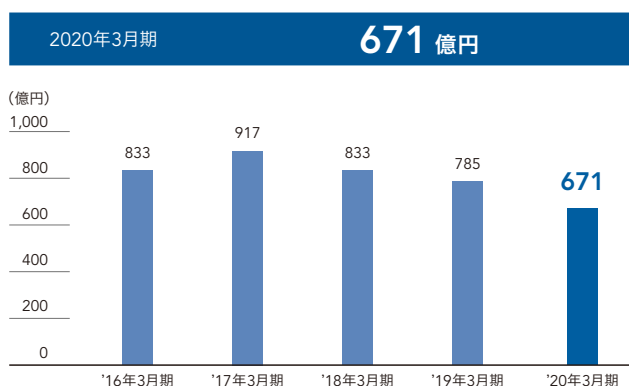
新契約価値※



※ 新契約価値についてはP.77をご参照ください。

2020年3月期の新契約価値は、主に販売量の減少により、前期から463億円減少し1,158億円となりました。

実質利益※



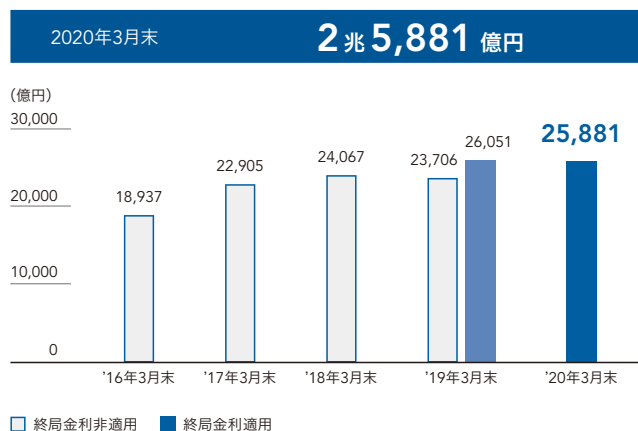
※ 当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過する額(税引後)を加算して算出。

2020年3月期の実質利益は、通期見通しの640億円に対して104.8%となる671億円となりました。2021年3月期より、実質利益に替えて「グループ修正利益※」を導入しています。

※ グループ修正利益についてはP.16をご参照ください。

企業価値

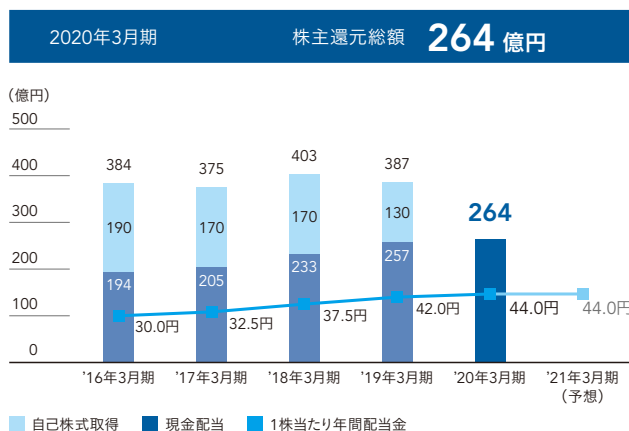
Group MCEV※



※ EVについてはP.79をご参照ください。

2020年3月末のGroup MCEVは、新契約価値を積み上げたものの、内外株価の下落等により、前期末より170億円減少し、2兆5,881億円となりました。

株主還元



2020年3月期は、1株当たり年間配当金を前期から2円増配の44円とし、5期連続の増配となりました。自己株式の取得については、新型コロナウイルス感染症の影響を確認した上で判断していきます。

連結主要収支

経常収益

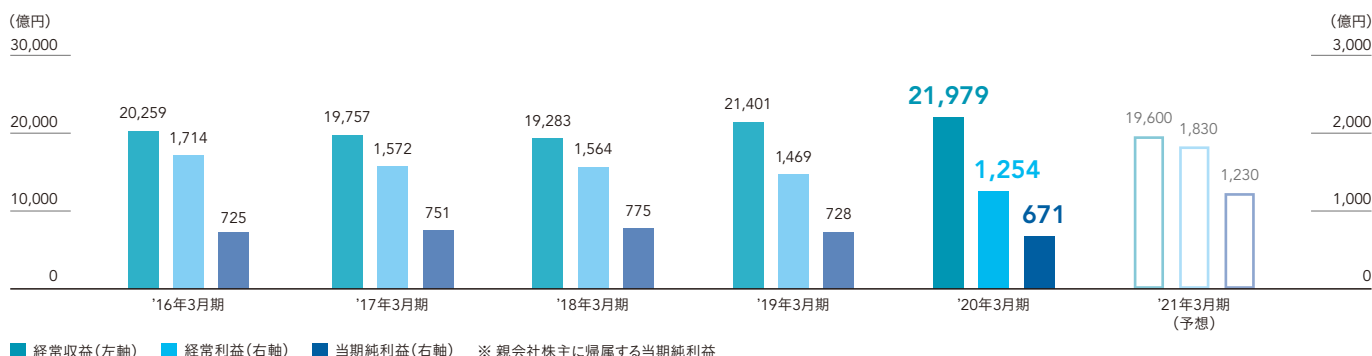
2020年3月期 **2兆1,979億円**

経常利益

2020年3月期 **1,254億円**

当期純利益※

2020年3月期 **671億円**



【連結主要収支】 経常利益は、有価証券売却損益の減少や有価証券評価損の増加により、前期から215億円の減益の1,254億円となりました。(親会社株主に帰属する)当期純利益は、減益となったものの671億円と通期業績予想(640億円)を上回りました。

【通期業績予想】 新型コロナウイルス感染症により、営業活動を中心に影響があるものと想定し、減収を見込んでいます。また、2020年6月2日に、クローズドブック専門保険会社であるFortitude Group Holdings, LLC(以下、「フォーティテュード社」)の持分25%を取得し、同社を関連会社化しました。これに伴い、同社の利益を持分法投資損益として計上することにより、増益を見込んでいます。なお、フォーティテュード社の利益には、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益が含まれており、これが2021年3月期通期連結業績予想における経常利益及び当期純利益の大幅な増加の一因となっています。当社グループではグループの経営実態を表す指標の一つとして、このような市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を一部調整した「グループ修正利益」を導入しています。

2021年3月期通期業績見通し【生保3社】

(億円)

	太陽生命		大同生命		T&D フィナンシャル生命	
	2020年3月期(実績)	2021年3月期(見通し)	2020年3月期(実績)	2021年3月期(見通し)	2020年3月期(実績)	2021年3月期(見通し)
経常収益	8,025	7,200	10,151	9,500	3,544	2,800
経常利益	367	360	861	870	22	▲40
当期純利益	158	140	504	480	10	▲40
基礎利益	543	490	1,169	990	▲50	▲50
順ざや額	287	280	348	120	▲29	▲40

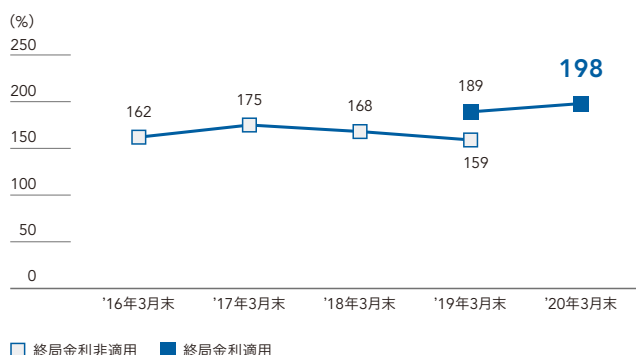
生保3社の2021年3月期の新契約業績は、2020年3月期業績の8割程度を想定しています。

健全性

ESR※

2020年3月末

198%



※ ESRについてはP79をご参照ください。

経済価値ベース資本十分性を表すESRは、2020年1月に調達した劣後債700億円のサンプラスへの算入等により、前期末より9ポイント上昇の198%となりました。

格付※・ソルベンシー・マージン比率

	格付機関			ソルベンシー・マージン比率
	日本格付研究所(JCR)	格付投資情報センター(R&I)	スタンダード&プアーズ(S&P)	
T&Dホールディングス	AA-	—	—	1,107.0%
太陽生命	AA-	AA-	A	805.5%
大同生命	AA-	AA-	A	1,335.3%
T&Dフィナンシャル生命	AA-	AA-	—	1,033.6%

格付は2020年1月29日現在

ソルベンシー・マージン比率は2020年3月末

※ T&Dホールディングスは、長期発行体格付。生命保険3社は、保険金支払能力格付。

各格付機関より保険金支払能力が高く評価されており、十分な健全性を有しています。

非財務ハイライト

多様な人材の活躍

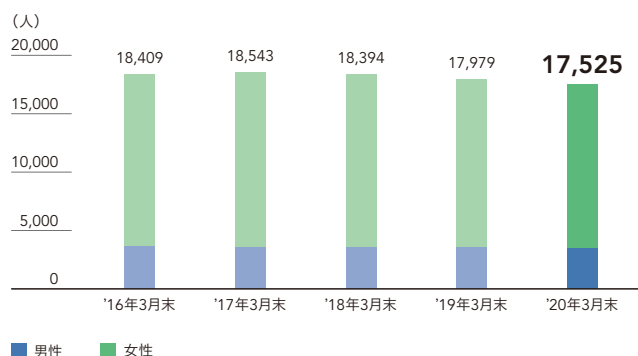
T&D保険グループでは「多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮できる企業風土づくり」を推進しています。

女性が従業員の多数を占める当社グループは、女性活躍をグループの重要な経営課題と認識しており、各社で人事・処遇制

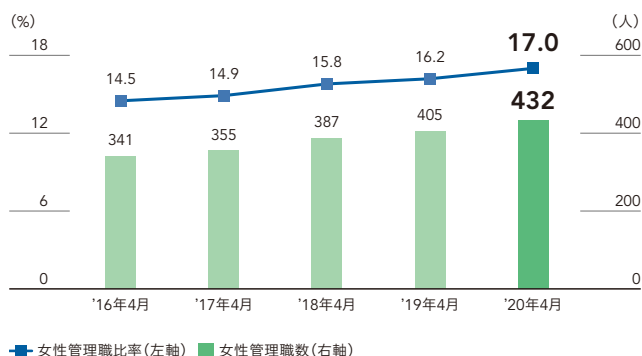
度を改定するとともに、各種の両立支援制度を導入しています。

障がいのある従業員が働きやすい職場づくりとして、専用のパソコン等の導入や通勤経路の配慮等を実施し、障がい者雇用の促進に努めています。

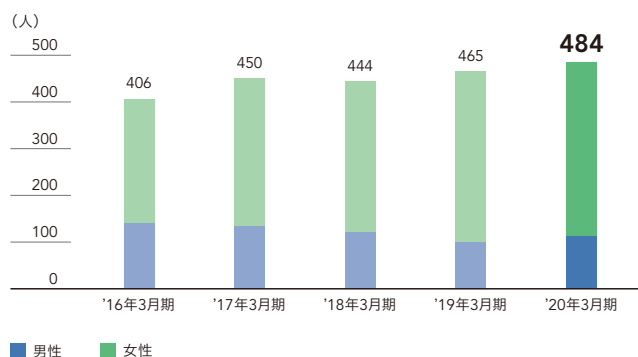
従業員数



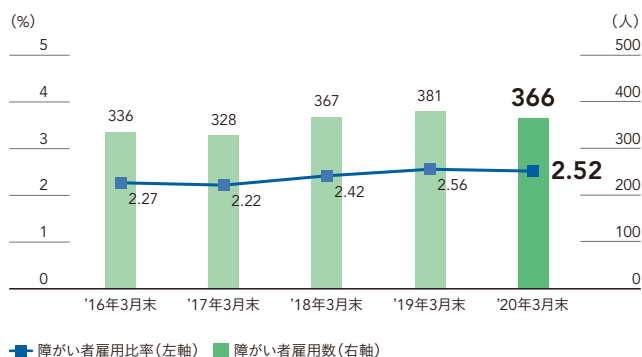
女性管理職比率／人数



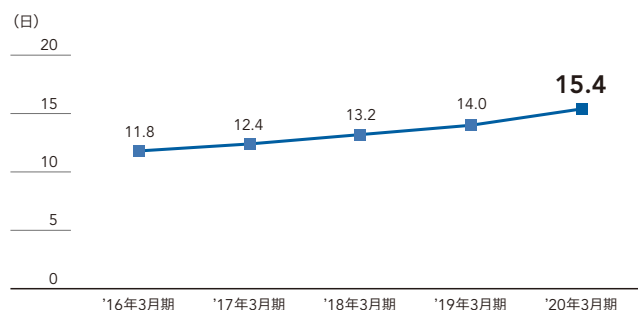
育児休業取得者数



障がい者雇用比率／人数



有給休暇平均取得日数



社員キャリア形成への取組みに対する受賞



T&Dホールディングス第2回「プラチナキャリア・アワード」優秀賞

第2回「プラチナキャリア・アワード」(主催:東洋経済新報社、後援:厚生労働省、株式会社東京証券取引所)にて、T&D保険グループ各社を代表してT&Dホールディングスが2年連続で「優秀賞」を受賞しました(応募企業:194社)。人生100年時代を迎える中、T&D保険グループの太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命それぞれの、従業員一人ひとりの成長に向けた取組みが評価されました。

※ 上記は、生保3社合計のデータです。また、女性管理職比率は、会計年度末の翌月4月1日現在のデータになります。

お客さま目線のサービスの取組み

T&D保険グループでは、お客さまにとってのわかりやすさを重視し、信頼いただけるサービスの提供に努めています。

＜お客さまサービスへの取組みに対する受賞＞

【太陽生命】

- UCDAアワード2019「10周年記念特別表彰」
- HDI-Japan主催「問合せ窓口/Webサポート格付け」で最高評価の「三つ星」

【大同生命】

- UCDAアワード2019「10周年記念特別表彰」
- HDI-Japan主催「問合せ窓口格付け」で最高評価の「三つ星」

T&D保険グループは、「お客さま本位」をグループ共通の価値観として、「T&D保険グループ お客さま本位の業務運営に係る基本方針」を定め、各社ごとに取組みを実施しています。

お客さま本位の業務運営に係る方針に対する評価(2019年度)

太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
総合的な満足度	総合的な満足度	ご契約時満足度
90.8%	80.0%	96.9%

※ 調査実施の方法は、会社ごとに異なります。
https://www.td-holdings.co.jp/information/business_operations.html

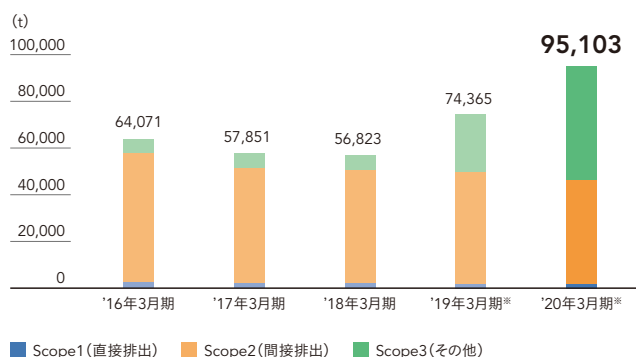
環境に配慮した取組み

T&D保険グループのCO₂排出量(Scope1+2)は、その90%以上が電力使用に由来しており、電力使用量の目標を設定し、削減に努めています。

また、ペーパーレス会議の推進などによる事務用紙使用量の削減や、文房具などを購入する際に、「グリーン購入法適合商

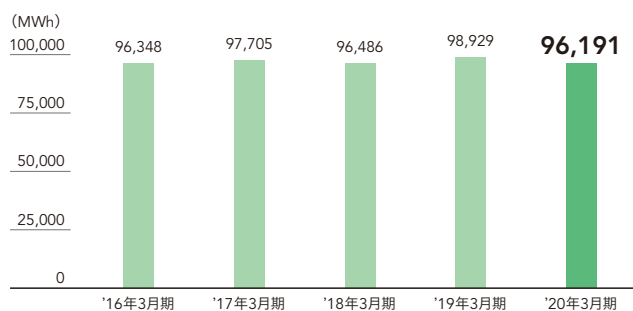
品」や「エコマーク認定商品」等を優先的に選ぶ「グリーン購入」を推進するなど、環境負荷低減に向けた取組みを実施しています。2019年4月には「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言にも賛同し、一層取組みを進めています。

CO₂排出量

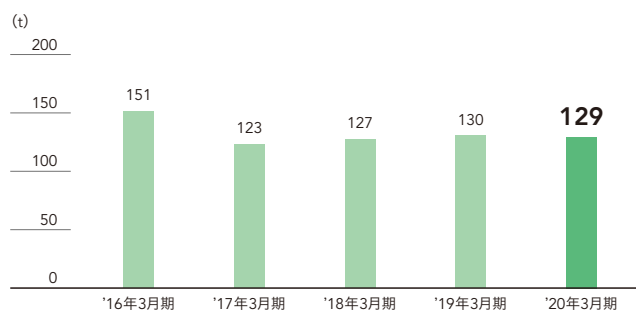


※ 2019年3月期データよりScope3はカテゴリ1,2,7を追加しましたので、大幅に増加しています。

電力使用量



事務用紙使用量



グリーン購入比率

